

# もりしあ人

— 森がある幸せを伝えたい —



なかむら ゆめな  
中村 夢奈 さん

埼玉県出身。日本獣医畜産大学(現・日本獣医生命科学大学)卒業後、山形大学大学院に進学し、博士号(理学博士)を取得。大学院修士課程時代にやまがたヤマネ研究会(みどり豊かな森林環境づくり推進事業採択団体)を立ち上げ、代表を務める。一児の母。

今回は、野生動物の調査研究と環境教育活動を手掛ける「やまがたヤマネ研究会」代表の中村夢奈さんです。

野生動物を愛することは、ペットをかわいがるのとは違う。貴重な標本を背景にお話を聞くうちに、野生動物からの沈黙のメッセージを受け取りました。



「アグレッシブですわね〜! いやいや...立ち上げ当時の活動はさほど活発ではなく、対外的なイベントは年に数回程度でした。研究課題と向き合うためのフィールドワークの方に重点を置いていました。」

## ◇動物が好きだった

子供時代

とにかく、動物が好きでした。間違いなく父の影響ですね。いつも海、山、川、どこか野外に連れて行ってきて、そこで生き物に触れていた気がします。



絶滅危惧種ニホンヤマネ

動物に関することをやりたいなあと、ずっと思っていたのですが、高校時代に羽山伸一先生(日本獣医生命科学大学教授の「野生動物問題」という本を読み、心をわしづかみにされました。そこからは野生動物一筋。羽山先生の大学に行くしかない!と思いました。

## ◇なぜ山形?

進路選択の転機

大学時代は各地で調査を行ってききましたが、関東は山が遠いので大変でした。野生動物の最も近くで、彼等を知り良好な関係を築くための研究をしたいと思っていたら、玉手先生(山形大学理学部教授。現山形大学学長)と出会いました。玉手先生なら、やりたいことをやらせてもらえると直感的に思い、山形大学大学院に進学しました。やまがたヤマネ研究会も、玉手先生の助言を受けて修士課程時代に立ち上げました。



交通事故などで命を落とした動物を標本にし、第二の命を吹き込む

## ◇博士課程の学生・研究会代表・母

三足のわらじを履く

博士課程の時に結婚しまして、出産・育児も学生時代に経験しました。忙しかったなあ... (遠い目)。若さだけが武器でした。今しようとして絶対ムリ(笑)。研究会の活動も、その頃から変わっていきました。今は調査研究と環境教育活動の2つの活動をしています。ですが、当初は「教育」の部分には力を注いでいませんでした。でも子育てを始めてからは、未来を担う子供たちに、野生動物のことを伝えたい気持ちがかんぱん膨らんでいきました。

## ◇知識を持てば野生動物をもっと大切にできる

野生動物を守るというのは、ただ保護をすることではありません。その動物が、その動物らしい生涯を全うできるように最善の対処をすることだと思います。例えば、カラスにモモンガが襲われる

のは自然の摂理です。モモンガは県の準絶滅危惧種ですが、人が介入してモモンガを助けようとするのは保護ではありません。イノシシを人里に誘引しないようゴミを捨てないことや、野鳥のヒナを持ち帰ってはいけないこと、バードストライク(鳥類が風車など人工構造物に衝突する事故)は人間側の工夫で減らせることなど、動物を守るために伝えたいことがいっぱいあります。知識を持てば、野生動物をもっと愛せる。子供たちやその保護者の方々にも野生動物の世界を知ってもらい、興味を持つ人を増やせればと思います。



里山の生き物を探して調べるイベントの様子

—2022年も イベントが盛りだくさん!

やまがたヤマネ研究会では、野生動物に関わるイベント、ツアー、展示会などを行っています。山形の野生動物に会いに行きませんか?

<https://yamagata-yamane.jimdofree.com/>



▲大会特設ページはこちらから  
山形県山岳情報ポータルサイト「やまがた山」内

協賛募集中!!

# 第6回 「山の日」全国大会 やまがた 2022

山を想い、山を愛し、山と生きる。  
~ 樹氷輝く蔵王のやまがたから、未来へ ~



熊野岳、お釜



蔵王温泉街

ツルギツツギ 樹氷

紅葉の鳥兜山

2022年 8/10 水

日中 記念登山 他

場所: 蔵王(熊野岳、地藏岳 等)

\*各開催場所は予定のため変更となる場合があります。  
\*記念登山、記念式典への参加は公募予定です。  
募集開始をお待ちください。

8/11 木祝

午前 記念式典 他

場所: やまぎん県民ホール(山形市)

終日 歓迎フェスティバル

場所: やまぎん県民ホール敷地内

第6回「山の日」全国大会実行委員会  
(事務局:山形県環境エネルギー部みどり自然課 山の日全国大会推進室)